



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月13日

上場会社名 株式会社プレイド 上場取引所 東
 コード番号 4165 URL <https://plaid.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員CEO (氏名) 倉橋 健太
 問合せ先責任者 (役職名) VP of Finance (氏名) 高橋 雄佑 (TEL) 03 4405 7597
 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	8,062	27.8	363	—	166	—	79	—	55	—
2023年9月期第3四半期	6,310	16.5	△272	—	△548	—	△591	—	△647	—

(注) 1. 包括利益 2024年9月期第3四半期 △15百万円(—%) 2023年9月期第3四半期 △634百万円(—%)
 2. 調整後営業利益=営業利益+のれん償却額+株式報酬費用+その他一時費用

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	1.39	1.36
2023年9月期第3四半期	△16.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	7,214	3,020	40.9
2023年9月期	6,219	2,748	41.7

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 2,947百万円 2023年9月期 2,592百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	10,809	25.2	275	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 調整後営業利益=営業利益+のれん償却額+株式報酬費用+その他一時費用

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期3Q	40,618,944株	2023年9月期	39,343,617株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	131,697株	2023年9月期	1,417株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期3Q	39,914,197株	2023年9月期3Q	39,023,155株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1, 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「データによって人の価値を最大化する」をミッションに掲げ、世の中に溢れる様々なデータを生活者(注1)にとって価値あるものとして還元し、豊かな体験を流通させることを目的に、当社の提供するCX(注2)(顧客体験)プラットフォーム「KARTE」をウェブサイトやスマートフォンアプリを運営する企業に向けて、クラウド方式(注3)で提供しております。

ショッピングや旅行、金融など様々なサービスがインターネットを介して提供されるようになった今、生活者が企業にもとめることは、「自宅にいながら買い物できる」「予約できる」といった単なる利便性だけではなく、自分の興味や状態に合った最適な提案を受けられる良質なコミュニケーションやその先の体験へとシフトしていると当社グループは考えております。

一方で、企業がそれに応えるためには、データの蓄積、統合、分析を通じて一人ひとりの状態を正しく理解し、それに基づいて適切なコミュニケーションを図る、あるいはウェブサイトやスマートフォンアプリをパーソナライズさせる仕組みを構築する必要がありますが、これらの取り組みは企業にとって複雑で難易度の高いものとなっているのが現状です。

企業は「KARTE」を活用することにより、ウェブサイトやスマートフォンアプリ上のリアルタイム行動データを中心とする様々なデータを、ユーザー単位で解析することができます。それによって、一人ひとりの興味や状態が可視化され、ユーザーをPV(注4)やUU(注5)といった塊の「数字」としてだけではなく、一人の「人」として理解しやすくなると当社グループは考えております。その上で企業は、「KARTE」内で一人ひとりの興味や状態に合わせた多様なコミュニケーション施策を実施し、その結果を検証することなどができます。

顧客体験向上やデータ活用に対する企業の関心が高まる中、「KARTE」はウェブサイトやスマートフォンアプリ上のマーケティング領域に留まらず、カスタマーサポート領域など様々な企業活動において活用いただいております。今後も「KARTE」の機能強化や各種プロダクトの提供を通じて、企業が統合的にユーザーを理解できるデータ環境の拡充を進めていきます。

当第3四半期連結累計期間においては、「KARTE」の販売強化に向けた組織変更や人員増強を行ったほか、更なる事業領域の拡大に向けた取り組みも行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の末日における当社グループのARR(注6)は9,508,259千円となり、同期間の当社グループの経営成績は、売上高は8,062,600千円、営業利益は166,268千円、経常利益は79,457千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は55,371千円となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは、SaaS事業及び広告事業であります。広告事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

- (注1) 世の中一般の不特定多数の人々を「生活者」、企業が商品・サービスを提供する相手を「ユーザー」と表記しております。
- (注2) Customer Experience(カスタマーエクスペリエンス)の略語であり、一般的に「顧客体験」と訳されますが、顧客がよいと感じられる体験、つまり「顧客が体験して得られる価値」までも含めて定義しております。
- (注3) クラウドコンピューティングの略語であり、ソフトウェア等のシステムをインターネット経由でサービス提供することを前提とした仕組みの総称であります。
- (注4) Page View(ページビュー)の略語であり、ウェブサイト内の特定ページが開かれた回数を表し、ウェブサイトがどのくらい閲覧されているかを測るための指標の一つです。
- (注5) Unique User(ユニークユーザー)の略語であり、特定の集計期間内にウェブサイト又はスマートフォンアプリに訪問したユーザーの数を表す数値です。
- (注6) Annual Recurring Revenueの略語であり、各期末の月次サブスクリプション売上高を12倍して算出。既存の契約が更新のタイミングで全て更新される前提で、既存の契約のみから、期末月の翌月からの12ヶ月で得られると想定される売上高を表す指標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,366,862千円となり、前連結会計年度末に比べ1,066,361千円増加いたしました。これは主に売掛金が124,112千円増加及び現金及び預金が925,511千円増加したことによるものであります。固定資産は847,232千円となり、前連結会計年度末に比べ71,660千円減少いたしました。これは主にのれんが40,569千円減少及び投資その他の資産に含まれる長期前払費用が25,951千円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は7,214,095千円となり、前事業年度末に比べ994,701千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,435,232千円となり、前事業年度末に比べ973,705千円増加いたしました。これは主に契約負債が468,140千円増加及び1年内返済予定の長期借入金が285,511千円増加したことによるものであります。固定負債は758,327千円となり、前事業年度末に比べ250,706千円減少いたしました。これは主に長期借入金が256,475千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,193,559千円となり、前事業年度末に比べ722,998千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,020,536千円となり、前事業年度末に比べ271,703千円増加いたしました。これは主に非支配株主持分が83,680千円減少した一方で、資本金及び資本剰余金がそれぞれ

143,472千円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は40.9%(前事業年度末は41.7%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結業績は、概ね当初計画どおり推移していることから、通期の業績予想については前回発表予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,827,359	4,752,871
受取手形及び売掛金	980,467	1,104,579
その他	492,674	509,412
流動資産合計	5,300,501	6,366,862
固定資産		
有形固定資産	57,597	73,510
無形固定資産		
のれん	339,833	299,264
無形固定資産合計	339,833	299,264
投資その他の資産		
投資有価証券	56,137	50,636
破産更生債権等	3,388	3,121
繰延税金資産	33,225	29,961
敷金及び保証金	303,862	293,223
従業員に対する長期貸付金	4,229	2,581
役員に対する長期貸付金	10,007	10,007
その他	113,999	88,048
貸倒引当金	△3,388	△3,121
投資その他の資産合計	521,461	474,458
固定資産合計	918,893	847,232
資産合計	6,219,394	7,214,095
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,150	2,532
短期借入金	1,660	100,000
1年内返済予定の長期借入金	384,628	670,139
未払金	742,290	670,937
未払法人税等	55,253	122,078
契約負債	504,487	972,627
受注損失引当金	54,429	30,623
その他	709,628	866,294
流動負債合計	2,461,527	3,435,232
固定負債		
長期借入金	990,540	734,065
繰延税金負債	18,493	24,262
固定負債合計	1,009,033	758,327
負債合計	3,470,561	4,193,559

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,945,895	3,089,367
資本剰余金	5,029,365	5,172,838
利益剰余金	△5,424,590	△5,369,219
自己株式	△279	△281
株主資本合計	2,550,391	2,892,704
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	41,904	54,974
その他の包括利益累計額合計	41,904	54,974
新株予約権	7,147	7,147
非支配株主持分	149,390	65,709
純資産合計	2,748,833	3,020,536
負債純資産合計	6,219,394	7,214,095

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	6,310,827	8,062,600
売上原価	1,770,850	2,288,614
売上総利益	4,539,977	5,773,986
販売費及び一般管理費	5,088,115	5,607,718
営業利益又は営業損失(△)	△548,137	166,268
営業外収益		
受取利息	152	133
助成金収入	225	—
受取手数料	223	10
受取配当金	0	0
ポイント還元収入	—	2,783
その他	2,496	253
営業外収益合計	3,097	3,181
営業外費用		
支払利息	15,957	14,320
支払報酬料	—	9,563
譲渡制限付株式関連費用	—	37,288
為替差損	11,365	18,287
支払手数料	—	4,166
その他	19,382	6,364
営業外費用合計	46,705	89,992
経常利益又は経常損失(△)	△591,745	79,457
特別損失		
投資有価証券評価損	45,791	5,501
特別損失合計	45,791	5,501
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△637,536	73,956
法人税、住民税及び事業税	11,996	99,001
法人税等調整額	1,232	3,264
法人税等合計	13,228	102,265
四半期純損失(△)	△650,765	△28,309
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,843	△83,680
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△647,921	55,371

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△650,765	△28,309
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	15,932	13,070
その他の包括利益合計	15,932	13,070
四半期包括利益	△634,832	△15,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△631,989	68,442
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,843	△83,680

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年2月22日開催の取締役会決議により、2024年3月25日付で譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金が83,439千円、資本剰余金が83,439千円それぞれ増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が3,089,367千円、資本剰余金が5,172,838千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントは、SaaS事業及び広告事業であります。広告事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	28,715千円	29,317千円
のれんの償却額	137,275	40,569